

2012
Summer

My...

夏の風物詩

ある日の出来事





今年、梅雨入りが遅かったせい、
7月も半ばだというのに、梅雨前線が停滞し
九州北部は甚大な被害を被った。
先日、やっと梅雨明けが宣言され、
毎日うだるような暑さが続いている。
そんな中、毎晩のように、どこからともなく花火の音が
暑い夜空にかすかに響きわたる。
7月になると、宮崎県南西部都城地方や鹿児島県では
無病息災を祈るための夏祭り「六月灯」が行われ、
市内ではその間100ヶ所以上の神社で灯笼が奉納される。
最終の8月2日の祇園祭の頃には、夏も本格的になる。

『六月灯』の由来 ——

1. 島津初代の忠久の供養で家臣が灯籠をともし、庶民に広まった。
2. 鹿児島県上山寺の観音像の修理が終わったことを祝い、19代領主の光久が寺に灯籠を寄進して始まった。

また、それ以前からも疫病払いや虫追いを兼ねて灯明をささげる風習があったことが知られている。古来日本では、仏像をもって神体とする神社があるなど神仏習合の傾向があったので、寺院で始まった灯籠の奉納が神社に広まっていったのは自然なことであった。明治の神仏分離令により、廃仏毀釈が断行され、寺院にその風習が多く見られないのは、その影響があるのかもしれない。



『ぴあ * ぴあマーケット』

7月22日(日)、先日から続く雨も上がり、いよいよ夏本番。都城圏域地場産業センター大ホールを使ったの大イベント「ぴあ * ぴあマーケット」が盛大に開催された。



R's cafe+ open

70ものハンドメイドや30のフードが所せましとひしめきあい、オープン前からお客様が長蛇の列をなしていた。それほど、今、ハンドメイドが流行っているのだろう。

私かというと、今回、庄内町の酪農家「うしのこ」のチーズ、いきつけのcafe'de社のシフォンケーキなどを引き連れて「R's cafe+」をopenした。

夏のイベント初参加ということで、レシピ選び、準備等々でここ数ヶ月は悶々とした日々を過ごした。

途中、急な大雨(嵐?)にも見舞われ、少々前途多難な開催になったが、色々な方に励まされ、無事乗り切ることができた事をここで感謝したい。



copyright(c) 2007 由卯
All rights reserved

うさぎ小屋豆通信社

